総代会について

◆ 信用金庫の特性について〈協同組織とは〉

信用金庫は、地域の皆様が利用者・会員となって互いに地域の繁栄を図る相互扶助を目的とした協同組織の金融機関です。

主な取引先は中小・零細企業や個人で、株式会社である銀行が利益第一主義を目的として株主の利益を優先させるのに対し、信用金庫は、利益第一主義ではなく、会員すなわち地域社会の利益が優先されます。

さらに、営業エリアは一定の地域に限定されており、お預かりした資金はその地域の発展に活かされています。このように金融サービスは同じでも、経営理念の違いで組織のあり方も銀行と大きく異なります。

信用金庫は、地域と使命共同体の関係にあり、地域全体への貢献が強く求められ、豊かな地域社会を実現するために日々努力しております。

◆ 総代会機能について

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員１人１人の意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、１人１票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することになります。しかし、当金庫では、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高議決機関です。したがって、総代会は、総会と同様に、会員１人１人の意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。

また、当金庫では、総代会に限定することなく、日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切にし、さまざまな経営改善に取り組んでおります。

■ 総代の任期・定数

・総代の任期は3年で、2023年3月23日までとなっております。

・総代の定数は、70名以上100名以下で、会員数に応じて各選任区域ごとに定められております。
　なお、2022年6月30日現在の総代数は76名で、会員数は10,458名です。

・総代の定年は75歳となっております。（ただし、新総代の就任については65歳以下。）

※なお、上記定年制については、2017年3月の任期満了に伴う総代改選により初めて就任された総代（新総代）から適用としております。

◆ 総代の選任方法と総代候補者選考委員及び総代候補者選考基準

■ 総代の選任方法

総代は、会員の代表として会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っております。そこで、総代の選考は、総代候補者選考基準に基づき、次の３つの手続きを経て選任されます。

①会員の中から総代候補者選考委員を選任する。
②その総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。
③その総代候補者を会員が信任する。（異議の申し立てができる）

■ 総代候補者選考委員の選考基準

〈総代候補者選考委員選考基準〉

◆ 資 格 要 件

・当金庫の会員であること

◆ 適 格 要 件

・地域における信望が厚く、信用金庫の使命を十分理解している人
・地域の事情に明るく、人格・識見とも優れている人
・その他金庫が適格と認めた人

■ 総代候補者選考基準

〈総代候補者選考基準〉

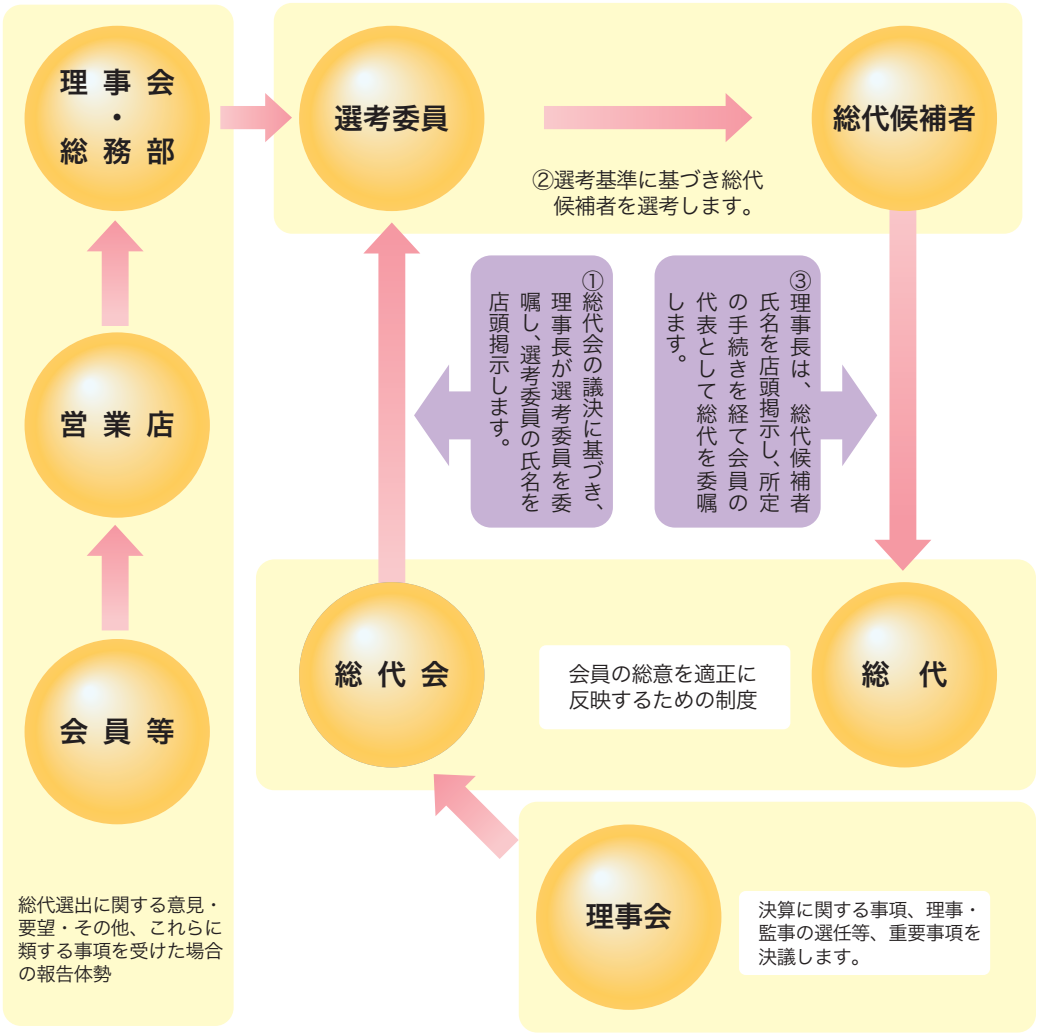
◆ 資 格 要 件

・当金庫の会員であること

◆ 適 格 要 件

・総代として相応しい見識を有している人
・良識をもって正しい判断ができる人
・地域における信望が厚く、総代として相応しい人
・地域での居住年数が長く、人縁関係が深い人
・行動力があり、積極的な人
・人格・識見に優れ、当金庫の発展に寄与できる人
・金庫の理念・使命をよく理解し、金庫との密接な取引関係を有する人
・その他総代選考委員が適格と認めた人

◆ 総代選考の流れ〈当金庫『総代選任規程』に基づく〉



◆ 総代の氏名等（2022年6月末現在）

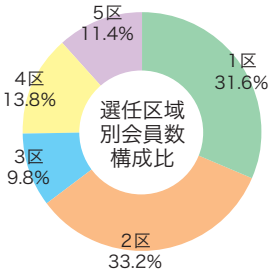
（敬称略）

選任区域	総代数	氏　　名
第１区 向島・小保 三又・木室 川口・大野島	26名	石井泰彦⑤　入江政義①　㈱江頭仏壇店 代表取締役 江頭直行⑦ ㈱エトウ 会長 江藤義行⑨　㈱大川ドリーム観光バス 代表取締役 柿添一人③ 大関一宏④　㈱奥平 代表取締役 奥平雅章⑥　神山太一⑥　岸　幹夫⑪ 古賀輝雄⑥　古賀豊美⑧　古賀博之⑤　古賀雅臣⑤　坂田重行⑥ ㈱貞包運送 代表取締役 貞包 忠①　貞苅伸二④　高田義行⑨ 竹下茂満⑥　田中信幸⑮　永尾久基⑦　馬場清治⑦　東　稔雄④ ㈲北斗観光 代表取締役 松嶋治雄⑥　松林慶樹⑪　丸田清輝⑪　村上達志⑦
第２区 榎津・酒見 田口	22名	秋田章二⑥　浅川純哉③　荒巻哲也①　内田裕史⑥　㈲浦鉄工所 代表取締役 浦 秀朝① 江口昌寿②　大坪俊高⑤　岡　　清⑧　岡　正史⑤ ㈱河口家具製作所 代表取締役 河口　健②　川﨑靖彦②　木下裕之④　木下義久⑤ ㈱佐藤商会 代表取締役 佐藤哲嗣②　佐藤元昭②　下川俊作⑤ 高野　博⑤　野田典嗣②　広松木工㈱ 代表取締役 廣松嘉明③　増田　茂① 松本宏治⑦　吉原敬利⑤
第３区 大木町	8名	池上　太②　石川会館㈲ 取締役会長 石川武海⑦　㈱カワノ 取締役会長 清成俊一③ 古賀勇人②　徳永征士⑧　廣瀬賢一⑨　的場長喜⑥　森田大作①
第４区 城島町 三潴町	12名	池松　優充①　㈱石の山本 取締役会長 山本正廣⑥　今村隆一⑫　大橋弘幸⑦ 柿原政夫③　栗丸徳重⑨　城島陸運㈲ 代表取締役 上野賢二⑥　田中　満⑤ 寺島廣記⑦　原武幹浩①　㈱丸栄紙管 代表取締役 今村泰生⑤　吉武征勝⑫
第５区 佐賀県	8名	大坪政憲⑤　庄司智昭②　㈱東馬 代表取締役 東島眞介②　㈱中村敬木工 代表取締役 中村 敬⑫ 野口東吾①　廣津和信⑭　宮地 豊⑧　㈱マーゼルン 代表取締役 向井敏宏①
合　計	76名	※○内の数字は就任回数を表します。

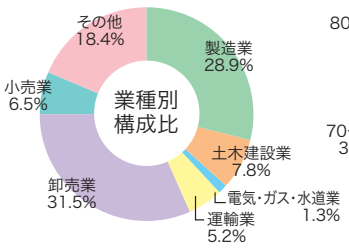
◆ 会員・総代の属性（2022年6月末現在）

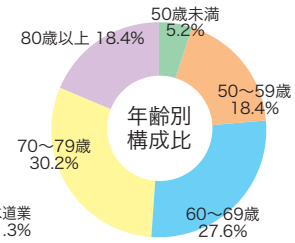
【選任区域別会員数】

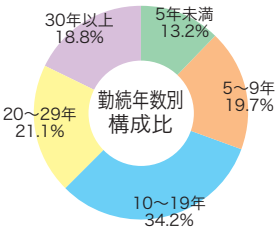
選任区域	会員数					
	法人数	／構成比	個人数	／構成比	合計	／構成比
1区	486	4.6％	2,820	26.9％	3,306	31.6％
2区	597	5.7％	2,879	27.5％	3,476	33.2％
3区	126	1.2％	901	8.6％	1,027	9.8％
4区	215	2.0％	1,238	11.8％	1,453	13.8％
5区	245	2.3％	951	9.0％	1,196	11.4％
合　計	1,669	15.9％	8,789	84.0％	10,458	100.0％

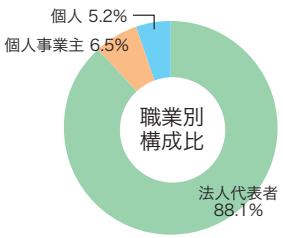


【総代の属性別構成比】









※比率は小数点以下第二位を切捨しています。

◆ 第84回 通常総代会の決議事項

信用金庫は、会員１人１人の意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。会員の皆様の中から適正な手続きにより選ばれた総代によって総代会が運営され、決算や取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する当金庫の最高議決機関です。

日　時　2022年６月28日（火）　午後４時より
場　所　大川信用金庫本店 2階大会議室

第84回通常総代会において、次の事項が付議されそれぞれ原案のとおり承認可決されました。
★総代総数76名、出席総代数61名、委任状提出総代数12名、欠席3名

【 報 告 事 項 】

監事監査報告

第１号報告	第71期（2021年4月1日から2022年3月31日まで） 業務報告、貸借対照表及び損益計算書内容報告の件
第２号報告	営業店窓口業務における昼休みの導入について

【 決 議 事 項 】

第１号議案	剰余金処分案の件
第２号議案	会員除名の件
第３号議案	総代候補者選考委員選任の件
第４号議案	経営効率における店舗展開について（定款の一部変更含む）
第５号議案	理事選任の件
第６号議案	退任理事に対する退職慰労金支給の件

■ 役 員 異 動

2022年６月28日	筬島　　浩	理事長に就任
2022年６月28日	宮原喜美男	専務理事に就任
2022年６月28日	田島　卓延	常務理事に就任
2022年６月28日	近本　祐一	常勤理事に就任
2022年６月28日	向井　茂雄	常勤理事に就任
2022年６月28日	石川　潤一	非常勤理事に就任
2022年６月28日	古賀　　巧	理事長を退任
2022年６月28日	山崎　一幸	非常勤理事を退任